

経営学部 基本教育科目カリキュラムマップ

ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	石巻専修大学では、各学部学科所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与します。 1 知識・理解 (1)幅広く豊かな教養を身につけている。 (2)学んだ専門分野の基本的な知識を身につけている。 (3)学問の体系性や方法論を理解している。 2 技能・表現 (4)情報を収集し、自分の考えをさまざまな方法で的確に伝えることができる。 3 思考・判断 (5)課題に対して 問題点を抽出し、学んだ専門分野の手法を用いて考察し判断できる。 4 関心・意欲 (6)学んだ知識・技術をもって地域社会や職場の諸課題に積極的に取り組むことができる。 5 態度・志向性 (7)生涯にわたって学ぶことができる。 (8)他者の意見を理解し、社会の中で柔軟に協調した対応ができる。 (9)自らを律し、自発的主体的に行動できる。 6 健康・体力 (10)生涯にわたる健康づくりの大切さを理解している。
-----------------------------	---

								◎=DP達成のために重要な科目、○=DP達成のために望ましい科目										
								知識・理解		技能・表現	思考・判断	関心・意欲	態度・志向性			健康・体力		
科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
基本教育科目	スキル養成	情報と分析力	情報活用法Ⅰ	経営学部 教授 益満 環	1前	2	◎	「アプリケーションを利用できる。コンピュータの仕組みを理解できる。これらを通じてコンピュータ社会に関わる諸問題解決のための基礎的素養を習得できる」ことを目標とする。				◎				△		
基本教育科目	スキル養成	情報と分析力	情報活用法Ⅱ	経営学部 准教授 舛井 道晴	1後	2	◎	・Excelの基本的な操作方法とコンピュータの基礎を習得する。				◎				△		
基本教育科目	スキル養成	情報と分析力	情報社会論	理工学部 教授 亀山 充隆 ／ 准教授 佐々木 慶文	1後	2	△	情報が社会にどのような影響を与えているかを具体的に学習し、いかにすればこの恩恵に供することができるか、いかにして負の側面を回避するかについて体得することが到達目標である。このために、情報通信技術の応用、情報リテラシー、情報メディア、情報セキュリティと倫理などについて理解を深める。	○			◎				△		
基本教育科目	スキル養成	情報と分析力	基礎統計学	経営学部 准教授 関口 駿輔	1前	2	△	統計学の基礎である確率の考え方を理解し、活用することができる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	情報と分析力	基礎数学	人間学部 准教授 阿部 正典	1前	2	◎	高校の数学で習う微分積分法を中心に、数や式の計算法やグラフの使い方を、たくさんの課題に取り組みながら体験的に習得する。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	日本語技法A	人間学部 兼任講師 安齋 雅裕	1前	2	◎	語彙力を豊かにすることは、日本語力を高めるための基本である。したがって、全講義を通じて、常用漢字を中心に、同音(訓)異義語・類義語・反対語・ことわざ・慣用句・時事用語等の主なものについて、的確な理解ができ、それを活用できるようにする。また、基礎的事項に関しても、これまでの学習内容を振り返り、演習をとおして的確に理解し活用できるようにする。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	日本語技法B	人間学部 兼任講師 安齋 雅裕	1後	2	△	語彙力の養成は、「日本語技法A」の発展として、意見・論説・書簡文等の文章作成や修正演習を通じて、より質の高いものにするのである。また、諸文書作成のスキルについては、様々な様式を知り、実作演習をとおして、場に応じた的確な選択と作成ができるようにすることである。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語A	人間学部 教授 根本 泉	1前	2	◎	・基礎的な文法事項を正確に理解することができる。・英文法に関する知識を、読む、書く、聞く、話すという実践的な活動に活かすことができる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語B	人間学部 助教 黒 志帆 美	1後	2	◎	正確に英文の構造を捉え、わかりやすい日本語に置き換える訓練を通じて、英語読解力のさらなる向上を目指します。				◎						

必修選択においては必修◎、必修修(◎)、選択必修○、選択△

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解			技能・表現	思考・判断	関心・意欲	態度・志向性			健康・体力
									(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語C	人間学部 教授 長谷川 香子	2前	2	○	英文法の知識を基に、日英両語の相違点や発想の違い、及び英語独自の表現法を習得し、日本語に沿った正しい英作文とクリエイティブな英作文ができるようになることを目標とする。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語D	経営学部 兼任講師 星 かおり	2後	2	○	(1)基本時制を正しく理解し、文法的に正しい英文を書くことができる。(2)モデルとなる英文を利用し、自己紹介や道案内など、50語ほどの平易な英語の文章を書くことができる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語コミュニケーションA	理工学部 兼任講師 柴田 和枝	1前	2	○	中学、高校の文法を復習しながら、英会話の基本を身につける。生活や身の回りに関する基本的な質問やその受け答えをパターンで覚えて、聞いて話せるようになる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語コミュニケーションB	理工学部 兼任講師 柴田 和枝	1後	2	○	前期に身につけた基本的な表現をさらに磨き、より複雑な会話表現をチャンク(意味のまとまり)として、パターンで覚え話す、聞く、書くことができるようにする。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語コミュニケーションC	人間学部 兼任講師 設楽・レベッカ・リ	1前	2	○	英語で自己紹介ができ、自分に関する情報を相手に伝えることができる。英語で質問し、相手に関する基本的な情報を得ることができる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	英語コミュニケーションD	人間学部 兼任講師 設楽・レベッカ・リ	1後	2	○	英語で自己紹介ができ、自分に関する情報を相手に伝えることができる。英語で質問し、相手に関する基本的な情報を得ることができる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	中国語A I	人間学部 准教授 輪田 直子	1前	2	○	・発音記号(ピンイン)を習得し正しい発音を身につけた上で、簡単な日常会話と初歩の文法をが理解できる。・現在の中国について映像資料などを通して理解を深める。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	中国語A II	人間学部 准教授 輪田 直子	1後	2	○	・中国語の正しい発音を身につけた上で、簡単な日常会話と初歩の文法を理解できる。・現在の中国について映像資料などを通して理解を深める。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	中国語B I	人間学部 准教授 輪田 直子	1前	2	○	・発音記号(ピンイン)を習得し正しい発音を身につけた上で、簡単な日常会話と初歩の文法を理解できる。・現在の中国について映像資料などを通して理解を深める。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	中国語B II	人間学部 准教授 輪田 直子	1後	2	○	・中国語の正しい発音を身につけた上で、簡単な日常会話と初歩の文法を理解できる。・現在の中国について映像資料などを通して理解を深める。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	フランス語A I	人間学部 兼任講師 大谷 尚文	1前	2	○	フランス語の基本表現と文法を学ぶことを目標とする。例文はフランス語の日常表現から採ってあるので、文法を勉強しながらフランス人の日常生活をかいま見ることができる。学んでいる文法事項に応じたシャンソン等を聞いたり歌ったりすることによって、フランス語を身近なものとする。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	フランス語A II	人間学部 兼任講師 大谷 尚文	1後	2	○	「フランス語A I」の続編として、フランス語の基本表現・文法を学ぶと同時に、例文を通してフランス語の日常表現を学ぶ。学んでいる文法事項に応じたシャンソン等を聞いたり歌ったりすることによって、フランス語が身近なものになる。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	フランス語B I	理工学部 兼任講師 マンス ヴィルジニ マリ レア	1前	2	○	フランス語の基本表現を学ぶことを目標とする。音声教材(CD)や先生とのやり取りを繰り返すことによって、フランス語コミュニケーションの二つの柱である聞く/話す能力を養い、最終的にはフランス語を聞いただけで、日本語を介さずにフランス語を理解できるようにする。				◎						
基本教育科目	スキル養成	表現力	フランス語B II	理工学部 兼任講師 マンス ヴィルジニ マリ レア	1後	2	○	フランス語の基本表現を学ぶことを目標とする。音声教材(CD)を繰り返して聞くことによって、フランス語コミュニケーションの二つの柱である聞く/話す能力を養い、最終的にはフランス語を聞いただけで、日本語を介さずにフランス語を理解できるようにする。				◎						

必修選択においては必修◎、必修修(◎)、選択必修○、選択△

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解			技能・表現	思考・判断	関心・意欲	態度・志向性			健康・体力	
									(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
基本教育科目	スキル養成	表現力	ドイツ語A I	経営学部 兼任講師 嶋崎 順子	1前	2	○	ドイツ語の発音を習得する。ドイツ語文法の基礎を理解し、辞書を使ってドイツ語の文章が読めるようになる。簡単なドイツ語を聞き取り、ドイツ語で自分のことを伝えることができるようになる。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ドイツ語A II	経営学部 兼任講師 嶋崎 順子	1後	2	○	ドイツ語の発音を習得する。ドイツ語文法の基礎を理解し、辞書を使ってドイツ語の文章が読めるようになる。簡単なドイツ語を聞き取り、ドイツ語で自分のことを伝えることができるようになる。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ドイツ語B I	経営学部 兼任講師 嶋崎 順子	1前	2	○	ドイツ語の発音ができるようになる。基本的なドイツ語表現を用いて自分の意志や情報を相手に伝えられるようになる。簡単なドイツ語が聞き取れるようになる。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ドイツ語B II	経営学部 兼任講師 嶋崎 順子	1後	2	○	ドイツ語の発音ができるようになる。基本的なドイツ語表現を用いて自分の意志や情報を相手に伝えられるようになる。簡単なドイツ語が聞き取れるようになる。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ハングルA I	人間学部 兼任講師 黄 孝善	1前	2	○	ハンガルの読み書きと簡単な日常会話ができるようになる。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ハングルA II	人間学部 兼任講師 黄 孝善	1後	2	○	日常会話でよく使われている表現が習得でき、学習した文章を正確にすらすら読むことができるようになる。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ハングルB I	人間学部 兼任講師 黄 孝善	1前	2	○	韓国語による簡単な単語や表現を確実に身につけるようにする。				◎							
基本教育科目	スキル養成	表現力	ハングルB II	人間学部 兼任講師 黄 孝善	1後	2	○	読む・書く能力を伸ばし、受け答えや初歩的なコミュニケーション力を身につける。				◎							
基本教育科目	社会性養成	キャリアの形成	キャリア設計	人間学部 客員教授 木村 民男	1後	2	(◎)	社会人・職業人として自立していくうえで必要とされる「力」を理解する。その「力」を生かしていくための方法や大学生活の目標設定と将来設計を立てる基本的な知識と技術を修得する。						○	○	◎	○		
基本教育科目	社会性養成	キャリアの形成	キャリア開発	経営学部 教授 湊 信吾	2通	2	△	・自分のキャリアをデザインすることができるようになる。・経営者の話を聞くことで現場におけるマナーについて知ることができる。						○	○	◎	○		
基本教育科目	社会性養成	キャリアの形成	キャリア研究	人間学部 特任教授 有見 正敏	3前	2	△	1. 文献やインターネット等で業界・企業・職種の調査ができる。2. 外部講師の話や質問を通して、企業訪問への意欲をもつ。3. いくつかの企業訪問をして学んだことを、レポートにまとめ発表することができる。4. インターンシップへの意欲につなげることができる。						○	○	◎	○		
基本教育科目	社会性養成	キャリアの形成	国際体験研修	経営学部 教授 湊 信吾	1~4集中	2		海外の人々と英語等の外国語によってコミュニケーションを図ることができ、異文化を幅広く且つ深く理解することができることを目標とする。						○	○	○	◎		
基本教育科目	社会性養成	社会との関わり	フレッシュマンセミナー	経営学部 教授 関 根 慎吾	1通	4	(◎)	(1)グループ学習など他者との関わりの中で、自分とは異なる視座の考え方を通して、自己理解を深めることができるようになる。(2)大学の学習の基礎となる学習スキルの修得を通じて、読む力、書く力、発想する力を身につけることができるようになる。(3)修得した学習スキルを応用して、グループと議論しながら新規企画を立案し、それを他者の前に立ってプレゼンテーションができるようになる。(4)10年後のなりたい自分像を描き、行動計画を立てられるようになる。				○	○			○	○	◎	
基本教育科目	社会性養成	社会との関わり	いしのまき学	経営学部 教授 湊 信吾	1前	2	(◎)	石巻市を題材として地方都市が抱える課題について考察します。この学習が一つの契機となって、石巻地域への興味・関心が芽生えたとともに、1年次後期以降に各学部が用意する専門教育科目へと継続・発展していくことが目標です。	△					◎					

必修選択においては必修◎、必修修(◎)、選択必修○、選択△

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解			技能・表現	思考・判断	関心・意欲	態度・志向性			健康・体力
									(1)	(2)	(3)				(4)	(5)	(6)	
基本教育科目	社会性養成	社会との関わり	復興ボランティア学	経営学部 教授 山崎 泰央	1前	2	△	震災被害や被災者の現状をしることで、震災の教訓を他人に伝えることができるようになる。地域の復興に問題意識を持ち、自分から進んで復興に貢献しようという意欲を持つ。ボランティア活動に参加し地域に貢献できるようにする。	△						◎	○	○	
基本教育科目	社会性養成	社会との関わり	ボランティア論	人間学部 兼任講師 佐藤 正幸	1後	2	△	ボランティアについて、さまざまな角度から、各自が気づき考えることが出来る知識を身につけることを目標とする。							◎	○	○	
基本教育科目	社会性養成	社会との関わり	ボランティア演習	人間学部 兼任講師 佐藤 正幸	2後	2	△	(1)社会福祉や特別支援における支援ニーズと支援の方法についての理解を深める。(2)ボランティアの意義について考察するとともに、ボランティア実践を通して意義についての理解を深める。							◎	○	○	
基本教育科目	社会性養成	社会との関わり	総合科目	経営学部 教授 益満 環	1前	2	△	「オープンデータを活用し、地域社会の様々な課題を発見・解決策を提案することができる」ことを目標とする。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	日本の歴史	人間学部 兼任講師 佐々木 淳	1前	2	○	日本近世史(特に17世紀)を学び、歴史学の基礎を理解する。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	世界の歴史	経営学部 兼任講師 府中 望	1後	2	○	(1)ヨーロッパの歴史について政治・社会・経済の各方向から多角的に見据えるとともに、その複雑な絡み合いのなかから歴史が展開してきたことを総合的に捉えるための視点を養う。(2)ヨーロッパ各国の固有性が歴史的なプロセスのなかで形成されてきたこと、またそれによって各国、ヨーロッパ全体、ひいては世界の歴史が少なからず左右されてきたことを理解する。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	異文化理解の人類学	人間学部 兼任講師 千葉 一	1後	2	○	インドの多様性とカースト制に関して深く論じることができる。また、インドの歴史が異民族の侵入と社会統合の模索である事を理解し、その思想的背景を深く理解できる。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	哲学—知の起源—	人間学部 教授 西方 守	1前	2	○	講義内容を理解すること、理解したことや考えたことを文章で的確に表現できるようにすること。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	芸術と文化	人間学部 兼任講師 森田 優子	1後	2	○	・地域や年代によってそれぞれ異なる美術作品のスタイル(様式)や表現を明確に捉える。・個々の美術作品のもつ文化的背景を理解する。・個々の美術作品に反映されたそれぞれの時代の芸術観を理解する。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	日本文学へのいざない	人間学部 准教授 遠藤 郁子	1前	2	○	・小説の基本的な読み方を身につけ、文脈に応じた内容理解ができる。・文学を社会との関わりの中で捉え、その関係性を説明することができる。・多様な日本文学に触れることにより、自らの思考の柔軟性を高め、広い視野を獲得できる。	◎									
基本教育科目	教養力養成	人間の理解	心理学—心の科学—	人間学部 助教 佐藤 誠子	1前	2	○	心理学に対するこれまでの自身のイメージやマスメディアにより作られた心理学のイメージを明確にした上で、それらを批判的に捉え、科学としての心理学とはどのようなものか、自分の言葉で説明できる。人間の「心」について、知覚・性格・人格・発達・学習等の側面から具体的に理解する。	◎									
基本教育科目	教養力養成	社会の理解	社会学の世界	人間学部 教授 佐藤 利明	1前	2	○	個人と社会の関係について社会的に説明できる。	◎									
基本教育科目	教養力養成	社会の理解	法と社会	経営学部 教授 三森 敏正	1前	2	○	我が国の主要な法律の概要と裁判制度を理解する。	◎									
基本教育科目	教養力養成	社会の理解	法と人権	経営学部 教授 三森 敏正	1後	2	○	国の三権の統治の理解と国民主権及び基本的人権等を習得し、リーガルマインドの構築を目標とする。	◎									
基本教育科目	教養力養成	社会の理解	経済と社会	経営学部 准教授 関口 駿輔	1前	2	○	経済学的な考え方を理解し、経済・政治・社会・文化など世の中を客観的に理解し、展望することができる。	◎									

必修選択においては必修◎、必修修(◎)、選択必修○、選択△

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解			技能・表現	思考・判断	関心・意欲	態度・志向性			健康・体力
									(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
基本教育科目	教養力養成	社会の理解	地理学—身近な地域から世界まで—	経営学部 准教授 庄子 真岐	1前	2	○	経済地理学の最も基本的な考え方を習得するとともに、地表上で生じている諸現象について地理学的な視点から分析し地域的な特性を把握できる力を身に付ける。	◎									
基本教育科目	教養力養成	社会の理解	地域と政策	人間学部 特任教授 横江 信一	1後	2	○	行政担当者による施策の解説を通して地域政策について理解する。	◎									
基本教育科目	教養力養成	自然の理解	生命と地球	人間学部 教授 柳明	1前	2	○	生物の特徴を理解し、それを日常生活に役立てることができるようになる。	◎									
基本教育科目	教養力養成	自然の理解	物質とエネルギー	人間学部 教授 恵原 貴志 ／ 教授 坂本 研	1後	2	○	身のまわりの「もの」の変化や性質、エネルギーに関わる事象を科学的に解釈できる様になることを目指す。	◎									
基本教育科目	教養力養成	自然の理解	環境と科学	工学部 助教 中川 繭	1後	2	○	トランス・サイエンス的な社会問題を自然科学というフィルタを通して認識し、それについての自分の考えを他者に伝えられるようになる。	◎									
基本教育科目	教養力養成	自然の理解	健康科学と身体運動	人間学部 教授 山内 武巳	1前	2	○	健康科学と身体運動では、1:スポーツの知識・技能の習得2:技術レベルの異なるメンバーと協力しながらスポーツを楽しむために必要なエチケット、コミュニケーションスキルの習得3:リーダーシップの発揮、チームとしての問題解決等に関わる個人の資質を身につける	○									◎
基本教育科目	教養力養成	自然の理解	生活習慣と健康管理	人間学部 教授 山崎 省一	1後	2	○	テレビ・新聞・インターネット等により健康に関する情報は日常的に氾濫している。多くの情報の中から有益な情報かどうかを判断出来る能力を身につけること、および自分の生活を豊かにするための健康について関心を持つようになること。	○									◎

経営学科 専門教育科目カリキュラムマップ

経営学科のディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	<p>経営学科では、学科所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与します。</p> <p>1 知識・理解 (1) ビジネスに関する学問の基礎を修得している。</p> <p>2 技能・表現 (2) 新たな課題を発見し、論理的に思考できる。</p> <p>3 思考・判断 (3) 社会的規範を重んじ、地域社会の持続・発展に寄与しようとする。 (4) 社会に貢献するための「自分らしさ」を確立している。</p>
----------------------------------	--

必修選択においては必修◎、選択必修○、選択△、自由▲

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表には入らない)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	◎=DP達成のために重要な科目、○=DP達成のために望ましい科目			
									知識・理解	技能・表現	思考・判断	
									(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	専門基礎科目	経営基礎科目	企業組織とマネジメント	経営学部 准教授 工藤周平	1後	2	◎	経営学の理論が企業経営の現場でいかに役立っているかを知り、この先の専門科目の学習に興味を持つ。学期の終わりには、教員の指定する企業について、授業で学習した経営学的な視点を3つ以上使って、5分程度でプレゼンテーションができるようになる。	◎		○	○
専門教育科目	専門基礎科目	経営基礎科目	マーケティング基礎	経営学部 准教授 李東勲	1後	2	◎	学習したマーケティング基礎知識を用いて企業が顧客に最も適した製品やサービスをいかに提供すべきかについて説明することができる。	◎		○	○
専門教育科目	専門基礎科目	経営基礎科目	簿記基礎	経営学部 准教授 竹中徹	1前	2	◎	・複式簿記の基本(貸借複記の原則、簿記の5要素の結合関係(仕訳)、勘定科目の設定目的、勘定への転記方法、総勘定元帳の体系と試算表・財務諸表の作成)の理解。なお、学習する勘定科目は基本的な科目に限定する。・専門展開科目において会計処理方法を学習する際、当該処理に関する仕訳と転記が想起できるようになること。	◎		○	○
専門教育科目	専門基礎科目	経営基礎科目	ビジネスと会計	経営学部 兼任講師 竹中徹	1後	2	◎	・企業において、なぜ財務諸表が作成されなければならないのかを理解するとともに、その基本構造と構成要素に関する基礎知識を獲得し、財務諸表の基本的な読解ができるようになること。・財務諸表の基本的な分析手法を学び、初歩的な分析ができるようになること。	◎		○	○
専門教育科目	専門基礎科目	経営基礎科目	ビジネスと情報	経営学部 教授 佐々木万亀夫	1後	2	◎	・コンピュータや情報システムに興味を持ち、意欲的に授業に参加できる。・コンピュータや情報システムに関する重要な語句を簡単な言葉で説明できる。・企業に導入されている経営情報システムの役割が理解できる。	◎		○	○
専門教育科目	専門基礎科目	実践準備科目	ビジネス演習入門	経営学部 教授 山崎泰央	1前	2	◎	企業から課せられた課題への取り組みを通じ、失敗(時には成功)を体験しながら、社会人と現在の自分とのギャップを認識することができるようになる。社会人と現在の自分とのギャップを埋めるために、主体的な学習計画を立てることができるようになる。			◎	○
専門教育科目	専門基礎科目	実践準備科目	ゼミナール I	経営学部	2通年	4	◎	NPOを切り口として文献を正確に理解し、自分の考えを文章で正確に表現することができる。	○	◎	○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	企業論	経営学部 教授 大坂良宏	2前	2	△	企業論の各講義テーマと該当する教科書の内容が理解できる。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	経営管理論	経営学部 教授 杉田博	2前	2	△	「新聞・ビジネス雑誌の内容がわかる」ことを目標とする。そのための基礎知識を授業で得よう。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	マーケティング戦略論	経営学部 准教授 李東勲	2前	2	△	本講義は、マーケティングの要と言える4Ps、マーケティング・リサーチ、ブランド戦略を習得することで、目まぐるしく変化する経済情勢を理解し、どのように判断するかという分析・説明することができる。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	地域経営論	経営学部 准教授 庄子真岐	2前	2	△	地域社会が抱える構造的問題を把握するとともに、地域振興策を企画立案、実施するために必要な考え方を習得する。	◎		○	○

必修選択においては必修◎、選択必修○、選択△、自由▲

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表には入らない)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解	技能・表現	思考・判断	
									(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	財産と法	経営学部 兼任講師 宮岡孝之	2前	2	△	全く法律を学習したことがない者が、民法の基本構造を理解し、その知識をつかって具体的な問題について考え、解決することができること。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	企業組織と法	経営学部 教授 三森 敏正	2前	2	△	商法、会社法の基本事項および判例を理解する。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	アントレプレナーシップ	経営学部 教授 山崎 泰央	2後	2	△	(1)10-15ページ程度の教科書の内容をグループで協力して、20分以内にグループでマインドマップなどのアウトプットを作ることができるようになる。(2)ブレインストーミング、共感図、ビジネスモデルキャンバスなど、創造的ツールを使ってアイデアを説明するとともに、インプロなどをつかって説得力のあるプレゼンテーションを5分程度できるようになる。(3)制約された課題からニーズやインサイト、顧客を設定し、新たな付加価値のある製品・サービスのアイデア創造ができるようになる。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	経営組織論	経営学部 教授 杉田 博	2後	2	△	「新聞・ビジネス雑誌の内容がわかる」ことを目標とする。そのための基礎知識を授業で得よう。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	流通論	経営学部 准教授 李 東勲	2後	2	△	流通論は、企業のマーケティング活動を理解する上で非常に重要な学問である。要するに、マーケティングをマクロ的に捉えることによって、マーケティングの本質である市場の創造と発展を担う担い手の存在と役割などを説明できるようになる。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	株式と法	経営学部 教授 三森 敏正	2後	2	△	商法、会社法の基本事項および判例を理解する。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	人的資源管理論		3前	2	△		○	○		○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	経営戦略論		3前	2	△		○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	非営利組織経営論		3前	2	△		○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	財務管理論		3後	2	△		○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経営学展開科目	地域産業論	経営学部 兼任講師 石原 慎士	3後	2	△	地域社会が抱える問題を理解することができる。地域産業の活性化に向けた方策について提言することができる。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	商業簿記	経営学部 准教授 田村 真介	1後	4	△	個人企業のより複雑な取引事象について簿記処理を行うことができる。決算整理をした上での損益計算書・貸借対照表の作成に至る手続きを行うことができる。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	会計学	経営学部 教授 関根 慎吾	2前	2	△	損益計算の基本的構造並びに貸借対照表と損益計算書の主要項目を理解し、それらの関連性を踏まえて、基本的な財務諸表分析ができることを目標とします。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	税法	経営学部 教授 岡野 知子	2後	2	△	1. 学生は、税に関する基本事項(意義、基本原則、租税法律主義、体系等)を修得する。2. 学生は、主要な税目(所得税、消費税、相続税・贈与税)のしくみを理解する。3. 学生は、租税判例を用いながら生きた税の姿を学ぶ。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	財務諸表論	経営学部 教授 関根 慎吾	2後	2	△	1財務諸表相互間の関係を理解できるようになる。2連結財務諸表の基本的な作成プロセスを理解できるようになる。		◎		

必修選択においては必修◎、選択必修○、選択△、自由▲

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表には入らない)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解	技能・表現	思考・判断	
									(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	原価計算論	経営学部 准教授 田村 真介	2後	2	△	授業計画に示される原価計算の役割を理解し、基礎的な知識を得るとともに、基本的な原価計算の技術を身につけることができる。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	コンピュータ会計	経営学部 教授 関根 慎吾	2後	2	△	1. エクセル等の汎用ソフトで会計業務を支援する帳票を作成できるようにすること。2. エクセル等の汎用ソフトで基本的な帳簿システムを独自に構築できるようにすること。3. コンピュータ会計ソフトで基本的な会計情報の作成ができるようにすること。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	税務会計論	経営学部 教授 岡野 知子	3前	2	△		◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	会計学展開科目	管理会計論	経営学部 准教授 田村 真介	3前	2	△	年間の経営計画を会計数値の次元にまで具体化して立てたり、日々直面する経営判断に会計数値を活用したりすることができる。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	経済学Ⅰ	経営学部 准教授 関口 駿輔	1後	2	△	経済学的な考え方を理解し、経済・政治・社会・文化など世の中を客観的に理解し、展望することができる。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	観光実務Ⅰ	経営学部 特命教授 大森 信治郎	1後	2	△	1. 旅行地理検定の3級ないし2級のレベルの知識の習得2. 国内旅行業務取扱管理者試験の実務科目の合格点(60%以上の正解率)レベルの知識の習得3. 国内地理の一般常識的な知識の確認と習得	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	経済学Ⅱ	経営学部 准教授 関口 駿輔	2前	2	△	経済学的な考え方を理解し、人口推計(シミュレーション)することができる。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	国際経済論	経営学部 教授 丸岡 泰	2前	2	△	以下を理解すること。(1)日本に住む人々の生活が他国に住む人々の生活との密接な関連、(2)国際収支表の基本的な収支の意味、(3)比較優位という考え方、(4)関税政策と保護主義の帰結。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	観光学	経営学部 准教授 庄子 真岐	2前	2	△	「観光」を体系的に理解し、観光や観光関連産業の専門的な知識を習得する。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	観光実務Ⅱ	経営学部 特命教授 大浪 健一	2前	2	△	第一段階としては、消費者保護の視点から「旅行業法」を理解し、賢い消費者(＝旅行者)になることを目指す。最終的には「国内旅行業務取扱管理者試験」、「総合旅行業務取扱管理者試験」(国家試験)の試験科目である「旅行業法および関係法令」の知識習得を目指す。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	観光実務Ⅲ	経営学部 特命教授 大浪 健一	2前	2	△	第一段階としては、消費者と事業者の取引契約条項である「約款」を理解する事により、賢い消費者(＝旅行者)になることを目指す。最終的には「国内旅行業務取扱管理者試験」、「総合旅行業務取扱管理者試験」(国家試験)の試験科目である「旅行業約款および旅行に関する約款」の知識習得を目指す。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	金融論	経営学部 教授 茂木 克昭	2後	2	△	学生は、資金循環、金融機関、金融市場、金融政策、金利、決済制度といった金融の基本事項についての知識を習得することができる。	◎			○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	地域観光論	経営学部 准教授 庄子 真岐	2後	2	△	各地で実施されている観光を通じた地域振興策を理解するとともにその企画立案や実施するために必要な考え方を習得する。	○			◎
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	産業観光論	経営学部 教授 丸岡 泰	2後	2	△	以下の理解を目指す。(1)産業構造変化の理論、(2)資本と労働の見方、(3)国内外の産業の現状。	○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	ホスピタリティ論	経営学部 特命教授 大森 信治郎	2後	2	△	1.ホスピタリティの本来の意味を理解する。2.ホスピタリティの概念を多面的に把握し、現代社会におけるその役割と意義について理解する。つまり、様々なホスピタリティ関連の社会的事象について分析的に考察しうる能力を身につけることを、到達目標とする。3.ホスピタリティある態度を習得する。	◎			○

必修選択においては必修◎、選択必修○、選択△、自由▲

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表には入らない)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解	技能・表現	思考・判断	
									(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	国際金融論		3前	2	△		○	◎		○
専門教育科目	専門展開科目	経済学展開科目	観光実務Ⅳ	経営学部 兼任講師 大浪 健一	3前	2	△	第一段階としては、消費者と事業者の取引契約条項である「約款」を理解する事により、賢い消費者(=旅行者)になることを目指す。最終的には「国内旅行業務取扱管理者試験」、「総合旅行業務取扱管理者試験」(国家試験)の試験科目である「旅行業約款および旅行に関する約款」の知識習得を目指す。	◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	オペレーティングシステム論	経営学部 教授 湊 信吾	2前	2	△	下記の4点について理解することができるようになる。・基本的なOSの仕組み・Linuxをインストールする時に必要な知識・OSのメンテナンス方法や省エネ対策・スマートフォンに採用されたOS	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	プログラミング基礎	経営学部 教授 日野 博明	2前	2	△	プログラムを入力し、実行ファイルに変換して、実際に実行を行う、誤りがあれば訂正して再度実行する。ここまでの一連の流れを確実に実行できることを目標とする。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	アルゴリズム論	経営学部 教授 日野 博明	2後	2	△	簡単なアルゴリズムをフローチャートで表現し、処理の流れを理解することができる。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	データベース論	経営学部 准教授 舛井 道晴	2後	2	△	データベースの仕組みについて理解し、実際に利用できるようになること。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	マルチメディア通信論	経営学部 教授 湊 信吾	2後	2	△	・3Dモデリングの実習を通して身近なものを3Dモデルとして表現できるようになる。・モデリングに関連する基本的な知識や技術を修得できる。・サウンドに関わる基本的な知識を習得できる。	◎		○	○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	情報システム演習		3前	2	△		◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	通信ネットワーク論	経営学部 教授 湊 信吾	3前	2	△	・一見複雑に見えるコンピュータネットワークは実は簡単な仕組みによって実現されているということを理解することができるようになる。・インターネットで採用されているプロトコルの仕組みについて理解することができるようになる。・コンピュータネットワークの仕組みを知ることでセキュリティの考え方について理解を深めることができる。	◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	情報システム設計論	経営学部 教授 益満 環	3前	2	△	「情報システムの設計手法を習得し、情報システムにおける人間とコンピュータの関わりについてモデル化できる」ことを目標とする。	◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	情報システム管理論	経営学部 教授 佐々木 万亀夫	3後	2	△	情報システム管理の目的および方法を理解し、説明することができる。	◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	経営情報学展開科目	プログラミング応用		3後	2	△		◎	○		○
専門教育科目	専門展開科目	実践科目	チャレンジゼミ	経営学部 准教授 舛井 道晴	1後	2	△	・舛井ゼミの活動内容と活動の意義を理解する。・2年次からのゼミナール活動を円滑に進めるための基本スキルを身につける。	○		◎	○
専門教育科目	専門展開科目	実践科目	フィールドワークⅠ	経営学部 教授 山崎 泰央	2通年	2	△	本講義の到達目標は、実践的な活動を通じて社会人としての基礎力(「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」)を修得することである。	◎	○	○	○
専門教育科目	専門展開科目	実践科目	プロジェクト	経営学部 教授 関根 慎吾	2通年	2	△		◎	○	○	○

必修選択においては必修◎、選択必修○、選択△、自由▲

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表には入らない)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解	技能・表現	思考・判断	
									(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	専門展開科目	実践科目	ビジネス演習	経営学部 教授 山崎 泰央	2後	2	△	クライアントの問題を解決するために、課題の設定からユーザーテストまでを短期間に行い、事業化が可能なレベルの提案ができるようになる。	◎	○	○	○
専門教育科目	専門展開科目	実践科目	フィールドワークⅡ	経営学部 教授 山崎 泰央	3通年	2	△	本講義の到達目標は、実践的な活動を通じて社会人としての基礎力(「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」)を修得することである。	◎	○	○	○
専門教育科目	専門展開科目	実践科目	インターンシップ実践		3通年	2	△		○	○	◎	○
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅰ	経営学部 教授 山崎 泰央	2	2	△	1)10-15ページ程度の教科書内容をグループで協力して、20分以内にグループでマインドマップなどのアウトプットを作ることができるようになる。 2)ブレインストーミング、共感図、ビジネスモデルキャンパスなど、創造的ツールを使ってアイデアを説明するとともに、インプロなどをつかって説得力のあるプレゼンテーションを5分程度できるようになる。 3)制約された課題からニーズやインサイト、顧客を設定し、新たな付加価値のある製品・サービスのアイデア創造ができるようになる。	◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅱ	経営学部 教授 山崎 泰央	2	2	△	企業家活動と事業創造の基本的な考え方を身につけ、デザイン思考やビジネスモデル・キャンパスなど、事業開発ツールを活用できるようになる。社会で必要とされる、事業活動における主体性や創造性の重要性を理解し、創造力、思考力、行動力、コミュニケーション力を身につける。	◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅲ	経営学部 特命教授 大森 信治郎	2	2	△	各種資格試験の合格	◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅳ	経営学部 准教授 李 東勲	2	2	△	本講義は、企業活動のグローバル化に関する基礎を習得することで目まぐるしく変化する経済情勢を理解し、どのように判断するかという分析・説明ができるようになる。	◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅴ		2	2	△		◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅵ		2	2	△		◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅶ		2	2	△		◎			
専門教育科目	専門展開科目	特殊講義科目	特殊講義Ⅷ		2	2	△		◎			
専門教育科目	専門研究科目	研究科目	ゼミナールⅡ	経営学部 教授 関根 慎吾	3通年	4	○	会計に関する知識を習得するだけでなく、企業の経済活動を会計学的な視点から考察することに挑戦し、会計に強い企業人としての土台ができあがることを目標とします。	○	◎	○	○
専門教育科目	専門研究科目	研究科目	テーマ演習Ⅰ		3通年	2	○		◎	○	○	○
専門教育科目	専門研究科目	研究科目	ゼミナールⅢ	経営学部 教授 杉田 博	4通年	4	○	(1)組織行動の中心的トピックであるリーダーシップとモチベーションについて学ぶ。対人影響力に関わるこのテーマは、なにも企業組織に限られたものではない。学生の皆さんも、友たち関係やサークル(部)活動、そしてアルバイトをしている職場などいろんな場面で、その難しさを経験しているはずだ。組織メンバーをやる気にさせ、同じ方向に向かわせることのできる人材の育成を本ゼミの目標としたい。(2)経営能力開発センターの経営学検定試験(初級)の合格を目指す。ビジネス・パーソンとしての基礎知識を問う試験で4年制大学2~3年生レベル。がんばることが自信になると思う。	○	○	◎	○

必修選択においては必修◎、選択必修○、選択△、自由▲

科目区分(大)	科目区分(中)	科目区分(小)	科目名	担当(表には入らない)	配当年次	単位数	必修選択	到達目標	知識・理解	技能・表現	思考・判断	
									(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	専門研究科目	研究科目	テーマ演習Ⅱ		4通年	2	○		○	◎	○	○
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	情報職業論	経営学部 兼任講師 佐藤亨	2後	2	▲	企業環境並びにビジネス環境を考え、それに伴う職業についての理解を深め、「職業人としての在り方」を考えることを目標とする。				
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	職業指導	経営学部 兼任講師 佐藤亨	3前	2	▲	職業観、勤労観、職業人としての在り方と高等学校における進路指導を考えることを目標とする。				
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	コンピュータ概論Ⅰ	理工学部 助教 劉忠達	1前	2	▲	高校時代あまりコンピュータに触れる機会の無かった人に対しては、コンピュータの基本的操作と主要アプリケーション(ウェブブラウザ、電子メール、ワープロなど)の使い方を知ることを目標にする。ある程度使い慣れた人に対してはより便利に進んだコンピュータの利用方法を習得することを目標とする。				
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	コンピュータ概論Ⅱ	理工学部 助教 木村健司	1後	2	▲	1.(UNIX系OSの一つである)Linuxの操作演習を通じて、OSについての理解を深める2.版組ソフトウェアTeXおよびHTMLの演習を通じて、コンパイルという概念を体得する				
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	プログラミング論Ⅰ	経営学部 教授 日野博明	2後	2	▲	プログラムを入力し、実行ファイルに変換して、実際に実行を行う、誤りがあれば訂正して再度実行する。ここまでの一連の流れを確実にこなせることを目標とする。				
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	プログラミング論Ⅱ	経営学部 教授 日野博明	3後	2	▲	プログラム言語で、まとまった処理を行うプログラムの内容を理解し、自分でも、ある程度のプログラムが作成できることを目標とする。				
専門教育科目	特別教育科目	特別教育科目	情報ネットワーク	理工学部 助教 劉忠達	3後	2	▲	1.情報ネットワーク技術の概略をつかむ2.情報ネットワーク技術の事実上の標準となっているTCP/IP(含UDP)について理解する				